

昭和小まなび通信



～ 学校・家庭・地域で はぐくむ昭和の子どもの夢・未来 ～
「読書活動」編

H23.7.7

昭和小学校では、 「読書活動」を推進しています！

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、読解力や表現力を高め、想像力を豊かなものにし、これからの人生を「より深く生きる力」を身につけていく上で、欠くことが出来ないものです。

昭和小学校では、全校児童の目標読書冊数「年間60,000冊」の読書を目標に掲げ、様々な取組を進めています。



毎朝8時30分から全校一斉の「朝読書」



毎朝10分間集中して自分の選んだ本を読む。1年生は担任の「読み聞かせ」により、読書に親しむ。



家庭でも…

子どもが読書しているときは、保護者もテレビを消して新聞を読んだり、読書したりする。

家庭でも…

子どもが触れやすいところに本を置いておく。

読書ボランティア「話っしょい」のみなさまによる読み聞かせ！



毎週金曜日の朝は、「話っしょい」の皆さまからの読み聞かせの時間…

学校図書館の積極的な活用を促進！



ボランティアの皆さまによる読み聞かせ、本の紹介等、学校図書館が充実しました。



家庭でも…

「保護者が読書する姿」を子どもに見せる。家族全員で読書する時間をつくる。

家庭での読書を勧めています。月に1度は「親子読書」の時間を…。

毎月第2金曜日は、「昭和読書の日」！



朝 読み聞かせ
昼「話っしょいひろば」
そして夜
各家庭で読書の時間を
作り出しましょう



子どもの読書習慣は日常生活を通して作られ、家庭の果たす役割は非常に大きいです。またそのような働きかけが望まれます。各ご家庭で出来るところから始めてみませんか。

